

KGA GOLFER'S NEWS

2022 冬号 No.139

一般社団法人 関東ゴルフ連盟

**2022年KGA主催
決勝競技詳報**

特集

JGA&KGA新リーダー対談

池谷正成JGA会長×佐藤敏明KGA理事長

TEAM KGA ジュニア

卒業生対談 吉田優利×馬場咲希

2023年度「TEAM KGA ジュニア」認定式

決勝競技方式の変更



高まるゴルフ人気 さらなる進化に懸ける 新リーダー対談



池谷正成
(公財)日本ゴルフ協会会長
(関東ゴルフ連盟前理事長)

佐藤敏明
(一社)関東ゴルフ連盟理事長

今年度、公益財団法人日本ゴルフ協会(JGA)新会長に就任した池谷正成氏と、池谷前理事長の後任として一般社団法人関東ゴルフ連盟(KGA)新理事長となった佐藤敏明氏。日本ゴルフ界をけん引する組織のトップとして、新たな舵取り役となった二人に、ゴルフ界の抱える課題と、将来に向けての抱負を聞いた。



聞き手:吉田裕明
(一社)関東ゴルフ連盟理事・広報委員長

2022年12月25日発行
一般社団法人 関東ゴルフ連盟
Kanto Golf Association

1/ 特集1

池谷正成JGA会長×佐藤敏明KGA理事長

高まるゴルフ人気 さらなる進化に懸ける新リーダー対談

6/ 2022年KGA主催決勝競技詳細

- 関東シニアゴルフ選手権
- 関東女子シニアゴルフ選手権
- 関東ミッドアマチュアゴルフ選手権
- 関東ミッドシニアゴルフ選手権
- 関東女子ミッドアマチュアゴルフ選手権
- 関東アンダーハンディキャップゴルフ選手権
- 関東小学生ゴルフ大会
- 関東ジュニアゴルフ選手権 男子
- 関東ジュニアゴルフ選手権 女子

24/ 特集2

TEAM KGA ジュニア

卒業生対談 吉田優利×馬場咲希
2023年度「TEAM KGA ジュニア」認定式

30/ 特集3

決勝競技方式の変更

関東ミッドアマと関東シニアの決勝競技方式が大きく変わる

32/ コラム

2022年は今後に繋がる変化の年だったのでは

33/ 新規加盟倶楽部のご紹介

ジャパンPGAゴルフクラブ



ふたりの対談と撮影は10月13日に浜野GCで行われた。両選手とも、とりわけ吉田選手はツアー終盤の多忙な日程のなか、快く時間を割いてくれた。

編集/一般社団法人関東ゴルフ連盟広報委員会
統括/吉田裕明(KGA広報委員長)
大竹 茂(KGA広報副委員長)
塚越克一(KGA広報副委員長)
久保田昌幸(KGA広報委員)
黒川秀昭(KGA広報委員)
近藤勇樹(KGA広報委員)
鈴木一也(KGA広報委員)
高岡和弘(KGA広報委員)
富澤 仁(KGA広報委員)
本條 強(KGA広報委員)
北川外志廣(KGA広報委員)
鈴木暁理(KGA広報委員)
福島 靖(KGA広報委員)
裏表紙/浜野ゴルフクラブ
桜ヶ丘カントリークラブ

吉田委員長 池谷会長にお聞きします。これまで関東ゴルフ連盟の理事長として、尽力されたことを振り返ってください。

池谷会長 前任の高橋正孝元理事長の働きで、関東ゴルフ連盟の一般社団法人化が決まり、法人化路線を定着化させるということが私の使命の一つでした。関東ゴルフ連盟は、日本のゴルフ界の中で主導的な立場のゴルフ団体ですから、そこで行われることが日本ゴルフ協会の運営の土台となっていると言っても過言ではありません。佐藤理事長が担当されてこられたジュニア選手の育成は、確実に軌道に乗って、たくさん選手が育っています。最近では8月、馬場咲希選手が全米女子アマチュア

体の舵取りをすることになりましたが、今後の方針など、お考えはございますか。

池谷会長 今年からJGAが新たに取り組むのが、ゴルフ振興推進本部事業です。スポーツ庁が策定したスポーツガバナンスコードに従い、全国にゴルフの振興を図り、普及させる活動を広げていきます。女性の参加を増やすことが大きな柱です。女性ゴルフファアの割合は、全体の約20パーセントです。これをスポーツガバナンスコードにうた

われているような40パーセントにするのは簡単ではないでしょうが、30パーセントにはしたい。また、より多くのご高齢の方々にも、ゴルフを楽しんでいただきたい。コロナ下で、ゴルフは対策もうまくいって人気が高まりました。この歩みを止めず、さらに前に進められたらと願っています。事業を行うためには、財政がポイントとなります。財務の強化にも力を注ごうと考え

ています。

吉田委員長 この方針の中で、佐藤理事長の役割も非常に大きいと思います。

佐藤理事長 JGA、KGAはこれまでも、競技団体という立

ち位置から、ゴルフを振興し、国民スポーツにしていこうというポリシーがありました。私も裾野を広げていく努力をします。1都10県を中心とした底辺の拡大と、レディイス、シニアゴルフファアの活性化を図ることが、非常に大きな役割になると思います。これには各加盟倶楽部の皆さんのお力添えが必要です。ゴルフスクールの開設やコースの開放など、具体的な活動を広げていくのがKGAの役割です。

吉田委員長 ゴルフ振興を進めていくには、体制作りが一つの課題になると思います。これまでは、JGA、KGAとも、競技団体という立場から進めてきました。その点を、池谷会長はどのようにお考えですか。

池谷会長 JGA、KGAとも元々、倶楽部組織の集合体からスタートしています。ですから、運営の主体が、倶楽部、会員各社によって成り立っています。しかし、ゴルフがオリンピック競技になり、スポーツ庁のスポーツガバナンスコードが出て、今、変革期を迎えています。佐藤理事長が話されたように、国民スポーツの方向、例えばコロナ下



いても、非常に多くの事を学ばせていただきました。学んだ事を生かして、頑張らせていただきます。

吉田委員長 池谷会長は、JGAでより高い所からゴルフ界全

十分な活動はできません。

吉田委員長 KGAとして1都10県、約500倶楽部を束ね、同じ方向を向いてもらうのは大変な苦勞が伴うと思います。

佐藤理事長 JGAは基本的な方針を作り、それを各地区連盟に理解してもらう活動をされています。一方、受け止める側の地区連盟から見れば、実をつけるための根っこ

を生やしていかなくてはなりません。国体競技にゴルフが採用されたあたりから、JGAが中心になっている組織と、スポーツ協会が中心にな

って行っている市民スポーツとしてのゴルフ組織の双方が、協調しながら進んでいるのが、今のゴルフ界の姿だと認識しています。KGAとしては、国体、そしてJGA主催の大会に参加

で増えている倶楽部に属していないゴルファアの人たちも、興味を持って参加してもらえようなJGAでなくてはいいけません。JGAの職員は、20名くらいです。単独で全国の事をやろうとしても、人的にも資金的にもできません。従来以上に全国の地区連盟と一緒に進めていかないと、ゴルフ振興推進本部は

十分な活動はできません。

吉田委員長 KGAとして1都10県、約500倶楽部を束ね、同じ方向を向いてもらうのは大変な苦勞が伴うと思います。

佐藤理事長 JGAは基本的な方針を作り、それを各地区連盟に理解してもらう活動をされています。一方、受け止める側の地区連盟から見れば、実をつけるための根っこ

を生やしていかなくてはなりません。国体競技にゴルフが採用されたあたりから、JGAが中心になっている組織と、スポーツ協会が中心にな

って行っている市民スポーツとしてのゴルフ組織の双方が、協調しながら進んでいるのが、今のゴルフ界の姿だと認識しています。KGAとしては、国体、そしてJGA主催の大会に参加



佐藤敏明 KGA理事長

「アスリートとしての力プラス人間性です。
この二つを兼ね備えないと、
本当のゴルファーにはならない」

にアマチュアランク世界一位になった金谷拓実選手も、ナショナルチーム出身です。ナショナルチームを経て、世界に羽ばたいています。

KGAが取り組む 今後の課題は？

吉田委員長 関東ゴルフ連盟の柱である競技について、今後ど

うまい人じゃなくて、ゴルファーとして尊敬される人というのを一番に目指す。KGAジュニアのポリシーとして変わらずにいるところです。

吉田委員長 ゴルフの育成に関して、池谷会長から、JGAの考えをお聞かせください。

池谷会長 私は14歳でゴルフを始めましたが、先輩ゴルファー、特にお年寄

にJGAやKGAがあるわけではありません。願っているのは、社会人としても通用する立派なゴルファーになって欲しいという事です。いい友達をたくさん作っていただくことも重要です。

吉田委員長 ゴルフの良さ、なぜゴルフなのかということの答えがそこにあるのではと、お話を伺っていて感じました。エリートゴルファーの育成はJGAが担っていますが、TEAM KGAジュニアは、ナショナル

チームに一人でも多くの選手を送り込もうと、頑張ってきました。ナショナルチームについて、お話しただけですか。



池谷会長 ナショナルチームでは今、オーストラリアから招聘したガレス・ジョーンズさんをはじめとするコーチ陣が、技術はもちろん、戦略、ものの考え方も非常にきちっと教えています。基礎体力の養成なども行い、単に球を打つだけでなく総合的な指導をしています。TEAM KGAジュニアだけでなく、他の地域のポテンシャルティを持った選手もたくさん入っている。東京五輪で活躍した稲見萌寧選手も、その前の畑岡奈紗選手、男子の中島啓太選手、その前

した。ジュニア育成のこれまで、そして今後の方針についてお話しください。

佐藤理事長 私だけの考えではなくて、ジュニア育成委員会の委員の皆さん方と激論を交わして、方向性が生まれました。その結果が、今につながっていると自負しています。議論には、高校の先生にも加わっていたかったです。ゴルフの持っている強みは、アスリートとしての力プラス人間性です。この二つを兼ね備えないと、本当のゴルファーにはならない。ゴルフが

池谷会長 ゴルフは、小学生から始める人がいる一方、90歳代になってもできるスポーツです。非常に息の長いスポーツであるうえ、小学生とお年寄りが一緒にプレーできます。他のスポーツにない特徴です。私は、先輩方からゴルフだけでなく社会生活に役立つことをたくさん教えていただいた。シニアゴルファーからジュニアゴルファーに、ゴルフだけでなくいろいろなことが伝達されていくと素晴らしいことだと思っています。

佐藤理事長 ゴルフは、生涯スポーツの面とアスリートの面の両方を持つ、奥深さと幅の広さがあります。アスリートの面から言うと、ゴルフほど自己に厳しく過酷な競技はありません。一方では、お年寄りがお孫さんと一緒にプレーされる姿を見かけるように、大変、穏やかな側面もあります。この素晴らしいスポーツをさらに発展させ、多くの人に知ってもらうため、池谷会長と力を合わせて努力していきたいと思っています。



池谷正成 JGA会長

「シニアゴルファーからジュニアゴルファーに、
ゴルフだけでなくいろいろなことが
伝達されていくと素晴らしい」

なってくれるといいなと願っています。

池谷会長 各地区連盟、特にKGAは、年間に130近い競技を行っていて、競技委員の大きな負担となっています。一方、新型コロナウイルス対策のために参加人数を少し絞っている中で、参加希望者の要望に十分に応えられていません。とはいえ、競技数を増やすことは、競技委員にさなる負担を強いることになります。冬の間はあまり競技がないわけですから、その分、ゴルフシーズン中は2日に1試合の割合で競技を行っています。計算になります。競技委員のご協力、ご努力には、本当に頭が下がります。

吉田委員長 JGA、KGAとも女性役員を拡充することが課題となっています。どのようにして増やしていくのか、お考えをお聞かせください。

池谷会長 現在、女性ゴルファーは、全体の20パーセント足らずしかいません。

佐藤理事長 底辺拡大にあたり、JGAにお願いしたいことは、学校体育にゴルフが取り入れられるような環境作りです。ゴルフもスポーツですし、オリンピック競技ですから、学校体育に取り入れられて不思議はないと思います。

池谷会長 現在、女性ゴルファーは、全体の20パーセント足らずしかいません。



シニアデビュー 50代の星々水上晃男が圧勝

18番ホールを終えると、優勝を確信し、喜びを全身で表す水上晃男選手。

難コース、強い風が相手も、ショットを自在に操り、危なげないゴルフを展開。



1 第2ラウンドは8位タイのスタートから2位になった菊池幸人選手。2 2年連続入賞の杉山稔選手(3位タイ)。3 4 3位タイの和泉一夫選手、河野真一選手。5 舞台のアコーディア・ゴルフ習志野CCは米ツアー競技開催に備え、コースコンディションはタフだった。6 7 最年長の松本勝治選手(80歳)は、米ツアー競技の舞台でプレーできることが予選競技通過のモチベーションになったと明かす。8 2番目の年長者=真崎敏寛選手(73歳)。9 同3番目の山本五郎選手(72歳)。

優勝したのは大方の予想通り“50代の星”水上晃男選手だった。50歳を過ぎてから関東ミッドアマ(2018年)、日本ミッドアマ(19年)などのタイトルを取り、昨年の日本シニアオープンでは8位タイの好成績で2年ぶり2度目のローアマを獲得。55歳となってアマチュア競技でのシニアデビューだった本競技は、初日に3アンダー、69で河野真一選手と並ぶ首位に立つと、最終日は多くの選手が風に苦しむ中を2バーディー、2ボギーの唯一のパープレーで回り、2位に6打差をつける圧勝だった。

会場のアコーディア・ゴルフ習志野カントリークラブ キングコースは、10月のPGAツアー「ZOZOチャンピ

オンシップ」開催に向けて仮設スタンドなどの準備中だった。難コースを制した水上選手は「このコースは自宅から30分と近いけど回ったことがなかった」。それでも風向きに合わせて高低を打ち分けるなどショットを自在に操り、危なげないゴルフを展開した。「練習ラウンドの時に風向きなどをチェックしていて、今日もその通りの風だった。自分の球は回転数が少ないのでコントロールがしやすく、『もっと風よ、吹け!』と思った」と、まさに匠のゴルフだった。

50歳を迎えた時に一念発起、酒などを断って筋力トレーニングにも本格的に取り組み、シニアのタイトル獲得を目指した。その努力は水上選手本人が驚くほどの

成果をもたらし、学生がほとんどを占める日本アマチュアゴルフ選手権でも最年長出場選手の常連となった。「年齢を経て、ゴルフがうまくなっている感じがする。学生にも仲がいい選手が多く、一緒に焼肉を食べたりしてゴルフのアドバイスをすることもある。教えることは自分の勉強にもなるからね」

昨年は息子の妻で東北福祉大出身の水上美慧(みさと)選手が関東と日本の女子ミッドアマ選手権で優勝し、父娘でミッドアマ日本一のタイトルを手にする快挙となった。「嫁は私の試合もネットでチェックしていて『お父さん、今日は良かったですね』なんてメールもくれる。55歳を過ぎて充実した人生です」。目じりを下

げる水上選手は「これからも健康、仕事、技術の向上を大切に上を目指していきたい」と、快進撃はしばらく続きそうだ。

決勝競技入賞者

ランク	名前	所属	1R	2R	Total
1	水上 晃男	鷹之台	69	72	141
2	菊池 幸人	富士市原	74	73	147
3	杉山 稔	総武	75	73	148
	和泉 一夫	皐月・佐野	75	73	148
	河野 真一	レインボーヒルズ	69	79	148



心身ともに安定度を 増した近賀博子 シニア2年目で初制覇

上がり2ホールの連続バーディーで
先行する前年優勝の平林治子を逆転。
勝因の一つはグリーンへの対応力。



近賀博子選手の18番ティショット。17番に続き、このホールでもバーディーを奪い、平林治子選手を逆転した。

熱戦の幕を閉じたあと、笑顔で互いの健闘を称える
近賀選手(右)と平林選手。



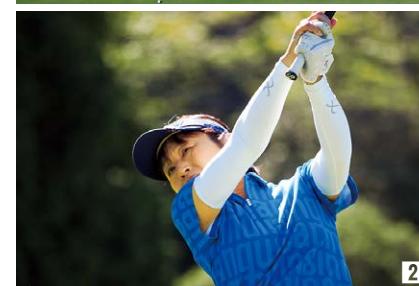
2022年の関東女子シニア決勝は、開場64年目の富士カントリークラブで開催された。国の登録有形文化財にも登録されるアントニン・レーモンド氏設計のクラブハウスが静かな佇まいからコースを見下ろす前で、50歳以上の女王の座をめぐる戦いは白熱の一騎打ちとなった。

最終日を1打差の首位でスタートした平林治子選手は連覇を狙うもスコアを伸ばせず、1打差で追う同組の近賀博子選手を突き放せない。試合が動いたのは、平林選手が16番パー3で1メートルのバーディーパットを外した直後だった。17番パー5の第2打をグリーンエッジまで運ぶバーディーで首位に並んだ近賀選手は、

18番パー5も第3打をピン横2メートルに寄せてバーディー。第3打がグリーン右の難しいラフからのアプローチとなった平林選手を逆転し、シニアデビュー2年目で初優勝を遂げた。

残り220ヤードの第2打を5番ウッドで2オンさせた13番を含む、後半の3つのパー5をすべてバーディーだった近賀選手。これまで関東女子ミッドアマなどを制し、昨年は日本女子ミッドアマ、日本女子シニアでいずれも2位だった実力を見せつけた。

勝因の一つは、グリーンへの適応力だった。富士山麓のゴルフ場は富士山を背にして芝目が順目であることが多いとされるが、富士CCはその逆で、箱根・金時山



6 スタート前、富士山をバックに記念撮影に興じる選手たち。7、8 18番ホールアウト後。スコアに関係なく笑顔が溢れる。9 最年長出場選手の栗栖奈美選手。



1 第2ラウンドは霊峰富士の美しい姿に選手たちのテンションは爆上がりだった。2 3位入賞の落合美詠子選手。3、4、5 田中真弓選手、徳島恭子選手、金環子選手(以上、4位タイ)。

を背にして目前にそびえる富士山に向かって順目。しかも今大会に備えて入念に整備され、グリーンの速さに戸惑う選手が続出した。グリーンキーパーの石川健太さんが「競技委員の方から少し厳しすぎるかもという声が出て、最終日は前日の夕方に散水するなどして少し遅くした」と話すほどだった。

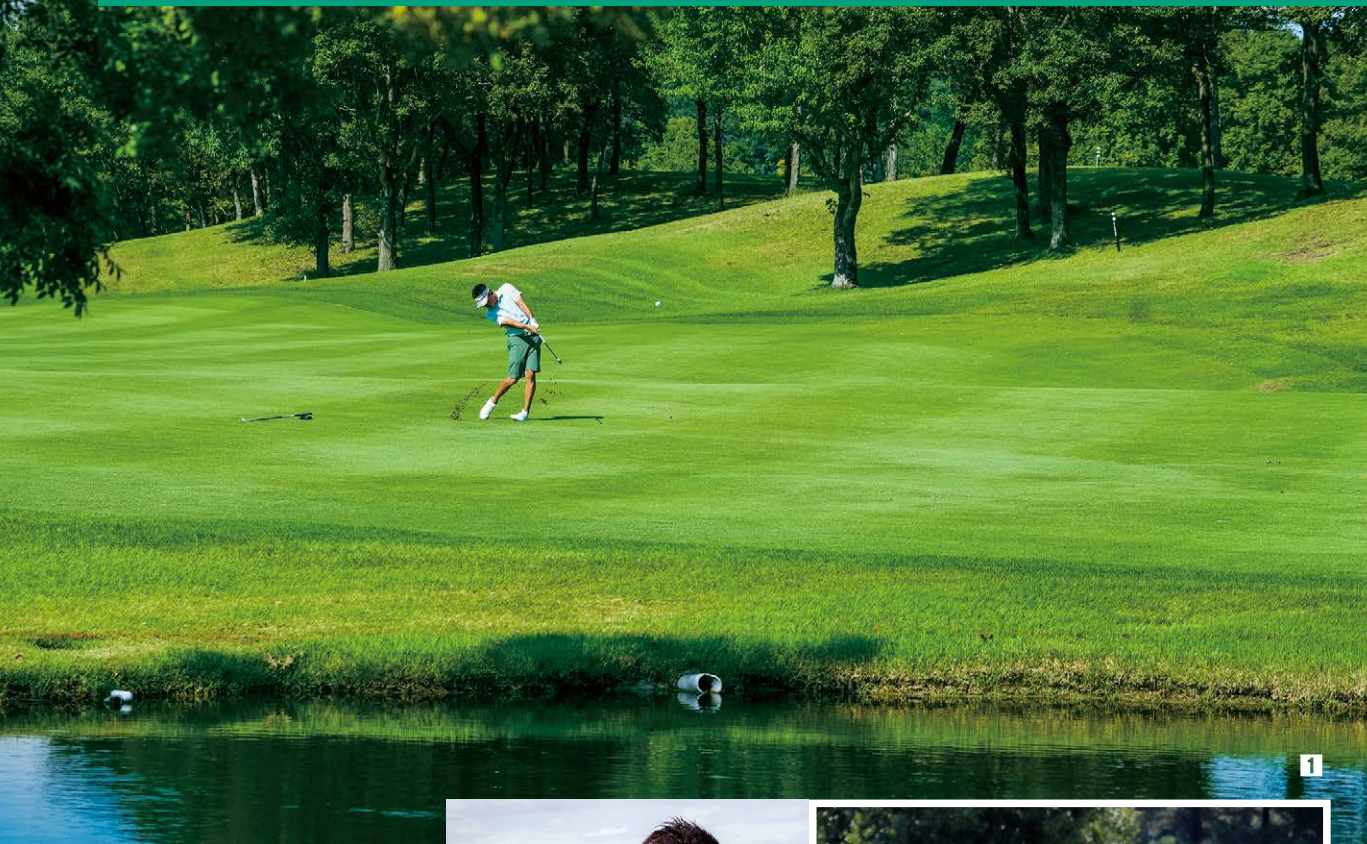
その中で近賀選手は「こんなに速くできるのかというくらいグリーンだったけど、これほどに整備していただいたと思って感謝した」と、2日間で計7バーディーを奪うなど攻略。「このグリーンで結果を出せてよかった」と喜んだ。

実業団のソフトテニス出身で、ゴルフを始めたのはゴ

ルフ場に転職した23歳から。「コロナ禍で練習に集中し、心身ともに安定するようになった。シニアになって成長しちゃった感じ」。笑顔の近賀選手の横で、石川グリーンキーパーも「本競技を参考に、もっとみんなに楽しんでもらえるコースにしていきたい」と目を細めていた。

決勝競技入賞者

ランク	名前	所属	1R	2R	Total
1	近賀 博子	久邇	74	72	146
2	平林 治子	都留	73	74	147
3	落合 美詠子	ニッソー	77	77	154
4	田中 真弓	成田東	77	78	155
	徳島 恭子	姉ヶ崎	76	79	155
	金 環子	富士チサン	75	80	155



1

熟練の味 豊島豊V5

昨年は圧勝。
今年は粘りの再逆転優勝。
熟練味を増した45歳。



2

秋 晴れ続きの3日目、最終日が始まった。

2日目を終えて首位に立つのは昨年の覇者、豊島豊選手。その最終組には2打差で高野隆選手と坂輪成章選手がいる。一組前には強者の高橋雅也選手と水上晃男選手が控える。とはいえ、これまでこの競技に昨年も含め4回優勝し、年を追うごとに力を上げている豊島選手がそのまま逃げ切るように思えた。

ところがゴルフはやはり一寸先が闇の世界。豊島選手はスタートからボギーを打ち、その後もショットが思うようにならない。5番、7番でもボギーとらしからぬプレーで高野選手に逆転された。3打差を付けられたときは「流れは高野選手、乗りまくっているし、今回はないかも知れない」と豊島選手は敗北も覚悟した。

しかし、ゴルフは何が起こるかわからない。「調子がいいときほど落とし穴がある」の例え通り、高野選手が9番でラフを渡り歩いてダブルボギーを叩いたのである。その差は一気に1つとなった。

高野選手は流れを引き戻せない。ボギーを叩き続け、12番で豊島選手に抜かれると、17番で3打差が付いた。この時点で豊島選手はある程度、優勝できると感じていた。ところが、前の組に追っ手がいたのである。スタートでOBを打って死んだふりをしていた高橋選手がジワリとバーディーを奪い、17番で1打差に詰め寄っていたのである。

豊島選手は最終ホールでのティーイングエリアに上がるとき、競技委員のスコアメモがちらっと見えた。高



3



4



5



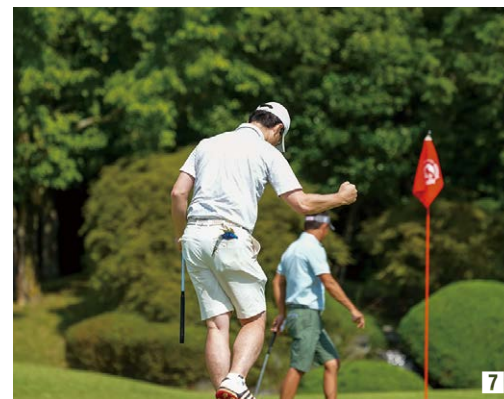
6



今年の最年長は66歳

決勝競技の最年長出場は66歳の鈴木隆之選手(右)。34位タイで日本ミッドアマチュアゴルフ選手権の出場権を獲得。左は同2番目の年長者、嶋野菊治選手。

3 鳩山CCを熟知する、本競技過去4度優勝の高橋雅也選手(2位)。4 現在“シニア最強”と言って過言ではない水上晃男選手(3位)。5 決勝出場の最年少、上條五大選手(26歳、4位タイ)。6 30代最後の年に見事入賞、小原淳選手(4位タイ)。



7



8

7 8番ホールまでスコアを2打縮め、豊島選手を抜き去ってプレッシャーをかけた高野隆選手。8 最後に豊島選手を熱くさせた高橋選手(左)。18番ホールでバーディーを奪い、一時豊島選手と並んだ。写真中は3位の水上選手、右は4位タイの小原選手。

橋選手が自分と1打差であることを知ったのである。18番はパー5である。「高橋さんの腕ならバーディーは十分にありえる。となれば、自分がパーなら並ばれる」

豊島選手は「バーディーを獲るしかない」と意を決した。「今日初めて気合いが入りました」

そう言うティーショットはフェアウェイど真ん中。フェアウェイウッズの第2打もナイスショット。第3打はピンまで132ヤードだった。「9番アイアンでコントロールしました。引っかけり気味だったので、それだけはないように打ちました。打った途端、打球が目標ラインに出て行っただけで大丈夫、寄ると思いました」(写真1)

ピンの左2メートルにナイスオン。下りの僅かに切れるラインを読み切ってカップに入れた。(写真2)「関東ミッドアマ5度目の優勝は新記録だと思います。それだけに嬉しい」

熟練味を増した45歳の顔が綻びた。日に焼けたいい笑顔だった。

決勝競技入賞者

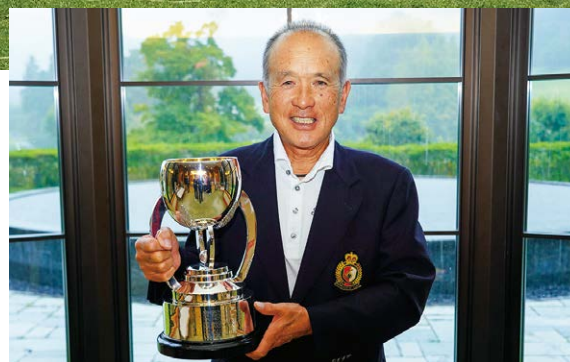
ランク	名前	所属	1R	2R	3R	Total
1	豊島 豊	東千葉	68	72	74	214
2	高橋 雅也	嵐山	75	69	71	215
3	水上 晃男	鷹之台	73	72	71	216
4	上條 五大	穂高	74	72	71	217
	小原 淳	愛鷹	70	74	73	217



雨中の決勝 ひとりゾーンで バーディー・バーディー 田村敏明がV2

田村敏明選手の16番パー3の
ティショット。

関東屈指の難コースに、冷雨。
サバイバルレースの様相も、
ひとり別次元のゴルフを展開。



「ひとり、彼の上だけ雨が降っていないんじゃないの？」

「いやー、可笑しいよ。彼はスーパーおじいちゃんだ(失礼!)」

「バーディー止まらず、雨の中でも微笑みも止まらないよ」

こんな感嘆の声が周囲のプレーヤー、関係者から漏れる中、優勝の栄冠に輝いたのは田村敏明選手。2回目の本タイトル獲得となった。

「いやー、最後は刻んで、刻んで」と本人は謙遜するも、最終日は終始独走しての完勝で、昨年同競技での悔しいランナーアップ(2位)からの雪辱を果たした。

舞台のメイプルポイントゴルフクラブは名匠ピート・ダイ設計による関東屈指の難コースだ。うねるグリー

ン、大小のマウンド群とバンカー、それが連日の雨でブレイキングディスタンスは表示以上となって難易度が限りなく上がる。

また、同週は10月上旬とは思えない低温気候となり、「東京地方は軒並み10度前後と、北海道、札幌の気温と同じです」とテレビニュースが伝えるほど。冬支度の装いを十分に用意していなかった選手達は「寒い、寒い」と言ってホールアウトしてくる。

倶楽部、競技運営側も早朝からタオルドライ、ロールドライの用意を急ぎ、集まった選手100名余を何とかプレー、完走させるべく懸命にサポート。ただこの雨と寒さで、全115名出場も最終日ホールアウトしたのが92名と当にサバイバルゲームとなった。競技を支えて



■ 上位入賞選手。前列左から鈴木隆之(4位タイ)、木村利治(2位)、田村敏明(優勝)、矢口武之(3位)。後列左から、いずれも4位タイの阿部逸朗、関根幸一、亀井隆、宮辰夫の各選手。■ 最終組で田村選手とラウンドした小久江正人選手(左)と木村選手。■ 3位入賞の矢口選手。



選手の要請により、ロールドライでグリーン面に浮いた水を掃く競技委員。



最年長は80歳の佐藤和男選手

決勝競技出場の最年長＝佐藤選手は初日79.2日目80で、2日間ともエージシュート。23位タイで日本ミッドシニアゴルフ選手権の出場権を獲得した。

いただいた神谷俊行支配人はじめ開催倶楽部皆様には本当に感謝御礼申し上げます。

そんな中、優勝した田村選手は最終日前半からショットがカップインと、同組の木村利治選手、小久江正人選手を呆れさせる。折り返しの10番ホールからも3連続でバーディー、バーディー、バーディー。ひとり傘をささずフェアウェイを歩く背中が神々しく見えてきた。

こうしてラウンドを終えて11月の日本ミッドシニアゴルフ選手権には、ディフェンディングチャンピオンの亀井隆選手ら34名が関東ゴルフ連盟からの出場を決めた。中には80歳を迎え、今回2日連続のエージシュートを達成した佐藤和男選手も。皆スーパーシニアな先

輩方で頼もしい限り。

今後もアマチュアゴルファーの見本となり、健康で楽しいゴルフライフアンバサダーとしての活躍も期待せずにはられない一日となった。

決勝競技入賞者

ランク	名前	所属	1R	2R	Total
1	田村 敏明	小千谷	71	71	142
2	木村 利治	水戸グリーン	70	75	145
3	矢口 武之	JGM セベバレストロス	77	75	152
4	関根 幸一	岡部チサン	80	74	154
	亀井 隆	唐沢	79	75	154
	宮 辰夫	習志野	78	76	154
	阿部 逸朗	東京よみうり	77	77	154
	鈴木 隆之	米原	77	77	154



橋本泰子KGA副理事長から優勝杯を授与される中谷玲選手。



第2ラウンド唯一のアンダーパー 中谷玲が5打差を逆転優勝

多士済々。
年齢もキャリアも多彩。
充実度を増す選手権。

入賞選手。左から人見佳乃、水上美慧、中村紗帆、中谷玲、山下ユナ、平林治子、近賀博子の各選手。



会場のカントリークラブ・ザ・レイクス(OUT・NEWコース)は、名前の通り18ホール中15ホールが池絡み。しかも、うねる高速グリーンが選手を待ち受ける。初日の平均ストロークが、パー72に対して80.3、さらに厳しいホールロケーションとなった最終日は約81.9と、名手たちを苦しめた。

最終日の朝、内藤正幸競技委員長は「アンダーパーの選手が出てきたら、うれしい」と話した。これは「アンダーを出すのは難しい」という意味だったのだろう。

競技委員長の予測をうれしい方向に外して、2アンダー、70で回ったのが中谷玲選手だった。初日は76

と苦しんだが、最終日は4バーディー、2ボギー。5打差をはね返し、13人抜きという見事な逆転勝利だった。

ゴルフを学ぶため、中学三年で単身、渡米。米国の高校、大学を卒業し、プロになるため日本に戻った。だが、去年は2次で、今年は1打足りずに1次でプロテストに落ちた。「自分に足りないのは強いメンタル。結果を気にすると、集中力がおろそかになる」。大学で心理学を学んだこともあり、今は本を通してメンタル面の強化に取り組んでいる。

「初日の76はこれまでの弱い私が出た。でも、今朝、両親から『悔いのないゴルフを』と励まされて吹っ切れた」。



1



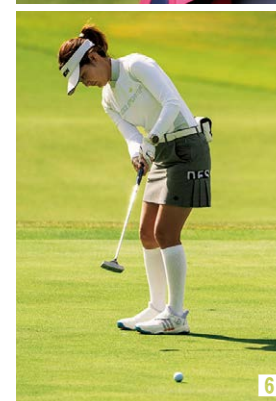
3



4



5



6



7



8



2



最年長出場の高橋浩子選手。今年は関東女子グランドシニア決勝競技でもプレー。

1 CC・ザ・レイクスらしい景観(本競技の3番パー3)。2 第2Rは天候にも恵まれ、笑顔の溢れる選手権に。3 4 5 2打差、2位タイの中村紗帆、山下ユナ、平林治子の3選手。6 7 8 5位タイの人見佳乃、近賀博子、水上美慧の3選手。

10番で池に入れても、15番でグリーンを狙ったアイアンショットをミスしても、傷を最小限にして乗り切った。

25歳以上が出場資格の女子ミッドアマチュアゴルフ選手権(女子ミッド)。「ルーキー」の中谷選手と、昨年、日本と関東女子ミッドの二冠女王となり、今回も5位に入った水上美慧選手は20代。同じく5位の人見佳乃選手は高校生と小学生の母親で、子育て等で、18年間、競技から離れていた40代のプレーヤーだ。2位の平林治子選手と5位の近賀博子選手は、1か月前の関東女子シニアゴルフ選手権(50歳以上)で、激しく優勝を争った二人だった。

関東女子ゴルフ選手権は今、高校生と大学生が上位を占めるが、この女子ミッドは、年齢も通ってきた道も違う様々な選手が競い合う、懐の広い舞台となっている。

決勝競技入賞者

ランク	名前	所属	1R	2R	Total
1	中谷 玲	カレドニアン	76	70	146
2	中村 紗帆	茨城	74	74	148
	山下 ユナ	カレドニアン	71	77	148
	平林 治子	都留	71	77	148
5	人見 佳乃	太平洋・御殿場	73	76	149
	近賀 博子	久邇	73	76	149
	水上 美慧	鷹之台	73	76	149



世界統一 ワールドハンディキャップ誕生で みんなでゴルフ

ワールドハンディキャップの取得で広がるゴルフの可能性。
年齢、ゴルフ歴に関係なくJGAの日本チャンピオンも夢ではない。



最年長選手

最少HDCP

最年少選手



1 左から吉田清志(4位)、中村尊重(2位、写真3も)、佛本達信(優勝)、臼井秀明(3位、写真4も)、高村英昭(5位)の各選手。2 左から斎藤のぞみ選手(優勝)と渡辺良江選手(4位)。3 女子2位の阿部香織選手。4 女子3位の足立真美選手。5 18ホールを終え、柔らかな笑顔を見せる優勝者の佛本達信選手(右端)と同じ組の面々。6 楽しいラウンドで結果は優勝の斎藤のぞみ選手(左から2人目)と2位の阿部香織選手(左端)。7 10 各最年長の加藤国守選手(78歳)と馬場百合子選手(69歳)。11 12 各最少ハンディキャップの安藤秀二選手(ハンディキャップ1)と松田美穂選手(同8、女子最年少=42歳)。13 男子最年少の寺本欣真選手(26歳)。

「こんどはJGA(日本ゴルフ協会)競技、全国大会(石川県・片山津GC)ですよ」と声かけすると、「嬉しい! まったく想像していなかったけど、是非出場します」と弾ける笑顔で応える女子の部優勝の斎藤のぞみ選手。

また男子の部優勝の佛本達信選手は「全国大会までしっかり準備。また練習して関東代表として臨みます!」と力強い。

競技当日は、ハンディキャップ1から33までの様々な年齢、ゴルフ歴の男女103名が関東各地域から予選競技を勝ち抜いて参加した。競技の特徴はシングルハンディのプレーヤーと同30台のプレーヤーが同じ組、同じティーから競い合う事(男女別)。スクラッチ競技とは異なり単に実打数が少ない方が結果上位入賞とな

らない点だ。フィールドも開催倶楽部が1か月前から周到に準備し、整備した競技コンディション。

今年2022年、世界統一基準のワールドハンディキャップシステムが採用されたが、日本ではそのハンディキャップ取得には従来同様さまざまな入口、方法がある。連盟加盟倶楽部のメンバーとなる、各都県連盟や幾つかのWebゴルフサイト等からでも取得が可能だ。今は登録後54ホール分のスコア(18ホールなら3ラウンド分)提出で最初のハンディキャップインデックスがもらえる(プレーするコース、倶楽部には一定の基準あり)。

ひとたび取得すれば、その後プレーの度にプレーヤー自身や所属倶楽部、競技連盟、協会が共通のシステムに入力するとそのプレー毎にハンディキャップインデッ

クスが更新される。その時々スコアが自分の最新のハンディキャップインデックスとして反映されるという事だ。そして各公式競技への参加も可能となる。もちろんゴルフを始めて、ハンディキャップも取得して一年余りでアンダーハンディキャップ競技の日本チャンピオンになる、などという事が可能となる。これもゴルフドリームステージのひとつではないだろうか。

本競技で11月の全国大会 JGA杯J-sysゴルフ選手権への進出を決めたプレーヤーが、「北陸日本海へのツアー。公式競技出場なんて夢ごちです! 全国旅行も使える!」と嬉しそうに伝えてくれた。

絶好のゴルフ日和のなか、またゴルフ競技の裾野が広がり、世界のゴルフ仲間が増える事を確信できたい一日となった。

決勝競技入賞者(男子)

ランク	名前	所属	GROSS	HDCP	NET
1	佛本 達信	平成倶楽部鉢形城	78	10	68
2	中村 尊重	中央都留	77	7	70
3	臼井 秀明	鹿島の杜	86	16	70
4	吉田 清志	埼玉県ゴルフ協会	85	14	71
5	高村 英昭	ハーモニーヒルズ	83	11	72

決勝競技入賞者(女子)

ランク	名前	所属	GROSS	HDCP	NET
1	斎藤 のぞみ	東京都ゴルフ連盟	83	14	69
2	阿部 香織	赤城国際	81	11	70
3	足立 真美	太田双葉	86	15	71
4	渡辺 良江	那須小川	90	18	72
5	昼間 美貴	江戸崎	84	12	72



男子は須藤樹 女子は長峰美桜が ともにアンダーパーで優勝

小学生ゴルファーの実力を試す最適の舞台。
須藤はアイアンショットの精度、
長峰はアプローチとパットで、タイトルをゲット!



左から高浦維吹、須藤樹、岡田凜空の各選手。



会場となった森永高滝カントリー倶楽部は、小学生大会ではお馴染みのコースだ。2016年に全国小学生大会が開催されて以降、8年間で6度、全国または関東小学生大会が開催されてきた。

森永製菓創業家一族の方の理解もあって始まった、森永高滝での「小学生大会」。今や小学生ゴルファーの目指す「甲子園球場」的存在と言える。

同倶楽部の横前靖宏取締役支配人は「出場する小学生は、マナーやエチケットも身に付けています。彼らが大人になり、思い出して再訪してくれたら、うれしいですね」と話す。

自然の起伏を生かし、微妙なうねりがあるコース。グリーンに近づくほど狙いが絞られていく設計で、小学生ゴルファーの実力を試す舞台としても最適だ。

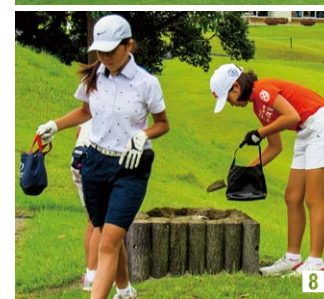
この難しい設定でも、男女の優勝者はアンダーパーをマークしてみせた。

男子優勝の須藤樹選手は、後半のインで、3連続を含む4バーディーを重ねて68。2位に5打差の圧勝だった。

須藤選手は「(3連続)一つ目のバーディーで、乗りに乗った感覚になった」と、会心のラウンドを振り返った。磨いてきたのはアイアンショットの精度。練習場では、アイアンショットを真っすぐに飛ばす練習を基本にしているという。ドライバーの飛距離も、「この1年間で10ヤード伸び、190ヤードほどになった」と、成長を感じている。

女子優勝の長峰美桜選手は「アプローチとパットがかみ合い、パット数は20か21。特に、前半は9パットだった」と、笑顔を見せた。週4日の練習のうち、「土日は一日中、アプローチとパットの練習をしている」成果が出た。71のスコアは、同じ距離で行われた男子に混じっても、2位に入る成績だった。

上位選手の多くが挙げた将来の目標は「プロで活躍すること」だ。この大会が、アスリートとしても、ゴルファー、人間としても、さらに成長するための第一歩となることを、コース、そして運営にあたった関東ゴルフ連盟ジュニア育成委員会の関係者は願っている。



1 2位タイの安西美空、2 優勝した長峰美桜、3 2位タイの境美玲の各選手。4 距離のあるパットを沈めガッツポーズを見せる2位タイの高浦維吹選手。5 2位タイの岡田凜空選手。6 須藤敏明KGA理事長から優勝の記念品の目録を授与される須藤樹選手。7 選手たちには思いに残る大会だったに違いない。13番パー3の長峰選手。8 9 10 マナーもしっかり身に付けた選手たち。

決勝大会入賞者(男子)

ランク	名前	所属	Total
1	須藤 樹	市原市立加茂学園小・6	68
2	岡田 凜空	町田市立小山田小・5	73
	高浦 維吹	袖ヶ浦市立昭和小・6	73

決勝大会入賞者(女子)

ランク	名前	所属	Total
1	長峰 美桜	千葉市立北貝塚小・6	71
2	境 美玲	江東区立有明西学園小・6	73
	安西 美空	つくば市立東小・6	73



武力と計略でコースを制した 上村大和と栗野泰成が初戴冠

次々と新星が登場！
KGAジュニア界の
層の厚さを示した選手権

1

15歳～17歳の部



2



3



4



5



6

12歳～14歳の部



7



8



9



10



11

1 印象的な景観の最終18番グリーン上、バーディーを狙う上村大和選手(結果はパー)。2 上村選手は第1ラウンドからトップを一度も譲らず優勝。3 4 2位タイの佐藤快斗選手と隅内雅人選手。5 上村選手の18番第3打アプローチ。6 優勝の上村選手をハウス前で出迎えるTEAM KGAジュニア他の仲間たち。7 優勝した栗野泰成選手は第3ラウンドの4番パー3でホールインワンをマーク。8 2位的小林麟太郎選手。9 10 3位タイの桑谷海翔選手と渋井晃太郎選手。11 5位タイの戸村空汰選手は第1ラウンドでホールインワンを記録。

決勝競技入賞者(15歳～17歳の部)

ランク	名前	所属	1R	2R	3R	Total
1	上村 大和	目黒日大高1	67	68	73	208
2	佐藤 快斗	埼玉栄高2	69	72	70	211
	隅内 雅人	啓明高3	68	69	74	211

会場の富里ゴルフ倶楽部は、フェアウェイ、グリーンとも大きくうねり、深いバンカー群と池が行く手に待ち受ける難コースだ。キャディー服の背中に書かれたコース理念「TAM ARTE QUAM MARTE(ラテン語で『武力と等しく計略を』の意味)」通り、力だけでは征服することはできない。

力と頭脳が問われた争いで、15～17歳の部を制したのは、目黒日大高校1年の上村大和選手だった。

2位に2打差の首位で、最終ラウンドをスタート。いきなり2番で、紛失球によるダブルボギーをたたき、隅内雅人選手(啓明高3年)に並ばれた。だが、4番のバーディーで再びリードすると、ただ一人、アンダーパーを守って逃げ切った。

昨年の関東アマチュアゴルフ選手権(以下関東アマ)で、中学生ながら9位に入った実力の持ち主。だが、今年2月に右腰を痛み、6月の関東アマも43位にとどまった。「もう、関東ジュニアゴルフ選手権しか残っていない」という思いで今回、コルセットを外して、つかんだ優勝だった。

「3日間で、ドライバーを使ったのは2回だけ」という戦略も功を奏した。最後の18番も、アイアンのティーショットから、プラン通りの位置に球を運び続けてパー。冷静なプレーぶりが光った。

12～14歳の部を制した栗野泰成選手(国府中3年)は、最終日、4番の200ヤード、パー3で、「試合では初めて」というホールインワンを達成。トップの小林麟太郎選手(日の出中3年)を一気に捉えた。続く5番、6番で連続ボギーをたたいたが、「焦らないこと」と自分に言い聞かせ、競り合いを制した。

昨年の関東ジュニアは1打差で日本ジュニアゴルフ選手権進出を逃した。「ここぞという所でティーショットが曲がる欠点があった」ためだった。

7月上旬のIMG世界ジュニアゴルフ選手権(19位)から帰国後、トップの位置がずれていることに気づいて修正、富里攻略につなげた。

上村選手も栗野選手も、今回が日本、関東の付くビッグタイトル初戴冠。ジュニア世代は今、次々と新星が登場してくる。

決勝競技入賞者(12歳～14歳の部)

ランク	名前	所属	1R	2R	3R	Total
1	栗野 泰成	国府中3	75	70	70	215
2	小林 麟太郎	日の出中3	74	69	74	217
3	桑谷 海翔	栃木東中3	75	75	69	219
	渋井 晃太郎	永田中3	69	77	73	219



15～17歳の部、12～14歳の部ともにプレーオフで決着がつく大接戦。3大会連続で会場となった千葉CC野田コースは昨年より距離が57ヤード伸びたにもかかわらず、60台のスコアをマークした選手は3日間で計15人を数え、ジュニアの実力が年々底上げされていることをうかがわせた。

15～17歳の部を制したのは、6月の全米女子オープンで日本のアマチュアとして8年ぶりに予選を突破した馬場咲希選手(日本ウェルネス高2年)だった。最終日を5アンダーの首位タイでスタート。接戦の中でスコアを思うように伸ばせず、17番の3パットボギーで2位に後退したが、続く18番パー5で持ち前の飛距離を生かし、残り230ヤードを3番ウッドで2オンに成功してバーディー。この日4バーディー、3ボギーの71、計6アンダーで高野愛姫選手(埼玉栄高3年)に再び並び、プレーオフ2ホール目の11番パー5で3.5メートルのバーディーパットを沈めて優勝を決めた。

3年前の12～14歳の部でも優勝している馬場選手は、今季のKGA主催競技では5月の関東女子ゴルフ選手権に次ぐ2勝目。「全米女子オープンはグリーン周りでベアグラウンドに近いライも多く、ロブだけではなく転がすアプローチの勉強も必要なることを痛感した。スタミナも大切と思い、今日はラウンド中の補給も考えた」と、学んだことは即実行。「次は8月の全米女子アマチュアゴルフ選手権に出場します」と目を輝かせて挑んだ世界最高峰の試合では、日本勢37年ぶりの優勝を飾った。

一方、12～14歳の部を制したのも、馬場選手と同じく「TEAM KGAジュニア」に所属する新地真美夏選手(相模中3年)だった。小学校の時から数々のタイトルを獲得しており、またもや勝負強さを発揮。最終日を首位に2打差の3位タイでスタートし、17、18番の連続バーディーでこの日6バーディー、1ボギーの67、計7アンダーとして首位の濱朱姫選手(白山中3年)に並んだ。

プレーオフ1ホール目の10番パー4は両選手ともティーショットをバンカーに入れたが、新地選手は残り170ヤードを6番アイアンで2オンさせてパー(写真②)。グリーンを外した濱選手を振り切った。「17、18番ともバーディーが欲しいところで取れたのは自信につながる。昨年の方があったので一層うれしい」。昨年は最終日が悪天候で中止となり2位。その悔しさを見事に晴らした。

決勝競技入賞者(12歳～14歳の部)

ランク	名前	所属	1R	2R	3R	Total
1	新地 真美夏	相模中3	71	71	67	209
2	濱 朱姫	白山中3	70	71	68	209
3	長澤 愛羅	鯉沢中3	72	68	73	213

12歳～14歳の部



新地真美夏



1



2



3



4

① プレーオフで競い合った新地真美夏選手(左)と濱朱姫選手。② 新地選手のバンカーショット。③ 濱選手は新地選手とともに、15～17歳の部を上回るスコア。④ 3位の長澤愛羅選手。

15歳～17歳の部



馬場咲希



5



6

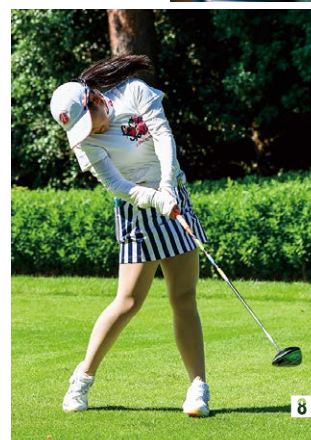
⑤ プレーオフ後に握手を交わす馬場咲希選手(左)と高野愛姫選手。⑥ 関東女子ゴルフ選手権とあわせて2冠に輝いた馬場選手。⑦⑧⑨ トップと1打差、3位タイの安西歩美、栗林夏希、飯島早織の3選手。

ともに
プレーオフで勝利

関東女子ジュニアの実力が年々底上げされ、有力選手の層はより分厚くなってきた。



7



8



9

決勝競技入賞者(15歳～17歳の部)

ランク	名前	所属	1R	2R	3R	Total
1	馬場 咲希	日本ウェルネス高2	71	68	71	210
2	高野 愛姫	埼玉栄高3	70	71	69	210
3	栗林 夏希	わせがく高3	69	72	70	211
	飯島 早織	ルネサンス高2	71	69	71	211
	安西 歩美	土浦日大高1	70	69	72	211



りする。でも、コースに出れば先輩も後輩もないから、そういうことは考えないようにしているの。

馬場 でも先輩の吉田さんにお聞きしたいのですが、私は（8月から）ナショナルチームに入ったばかりで、何も分からないんです。例えばヘッドコーチのガレス・ジョーンズさんからは、練習ラウンドなどで水準器を使ってゼロライン（上りの真っ直ぐのライン）を確認しているのですが、プロでも同じですか？

吉田 ゼロラインは最初の方はやっていただけ、ヤーデージブックにもグリーンの傾斜などが書かれているしね。

馬場 私は水準器の使い方がまだ分からなくて、ヤーデージブックの矢印を見えています。

吉田 それで十分、十分（笑）。

馬場 吉田さんはいつも上位争いをしていて印象で、マネジメントも見習おうと思っで見えています。そしてすごく思うのは、プレー中にいつも笑顔が浮かんでいること。ミスしてイライラした顔をする人も多いのに、笑顔は意識しているのですか？

吉田 怒ることもあるけど、ミスは取り返せると思っっているから、怒って流れを崩す必要はない。ミスをするかもしれないの狭間でゴルフをしている人は一つのミスが重みになってしまう場合もあるだろうけど、自分の調子が良ければ、そういうことも考えなくていいじゃない。

馬場 そのような準備が、あの自然な笑顔につながるのですね。

吉田 自分のことをかなり客観的に見ているから。私生活でも自分を客観的に見ることは大事だと思っっていて、常に外から見られているという意識はして

るの。

馬場 すごい、すごいですね。最近では自分を客観視することが大事だと言われるけど、すごく難しくって。客観的に何だろうと思っってしまうんです。

吉田 なるほど。でも、ゴルフを楽しむ感じがある咲希ちゃんのプレースタイルが、私はすごく好きだよ。

馬場 それだけなんです。日本でも海外に行っても、本当にゴルフが楽しいんです。

吉田 すごくいいこと。ゴルフが好きで楽しくないと、プロみたいに試合が毎週あると続かないからね。私もゴルフが好きだし、本当に楽しい。それにプロだと、その試合に負けても次にすぐチャンスがあるから。

馬場 ただ、まだ体力をつけている過程で、体重がすぐ減ってしまうので、連戦には不安があっ……。

吉田 プロは試合をやりながら体力をつけていくの。フィジカル・トレーニングもやっているけど、結局は実際に歩いて

プレーして、それで体力をつけていく。週に5ラウンドくらいするわけだから、場数を踏んでいくことだと思う。

馬場 プロになったら、ゴルフが楽しいという気持ちが変わっってしまうのではという不安もあるんです。

吉田 楽しいままで行けたら最高の形だけど、もしかしたら楽しくなくなる時もあるかもしれない。だから、そうなった時にどうすればいいかを、今から考えておけばいい。何があっても



馬場咲希

卒業生対談

吉田優利

「TEAM KGA ジュニアに入って本当に良かった」

プロ3年目の2022年も安定した成績をJLPGAツアーで残した吉田優利選手（22歳）と、8月の全米女子アマチュアゴルフ選手権で日本勢37年ぶりの優勝を成し遂げた馬場咲希選手（代々木高2年）。「TEAM KGA ジュニア」の卒業生でもある2人の対談は、吉田と同じくナショナルチームに加入してプロも視野に入れる馬場選手が先輩に質問を次々と浴びせる展開になった。（構成＝鈴木遍理 広報委員会参与）

吉田 馬場さんが全米女子アマを優勝したのを聞いた時は、凄いいという言葉では言い表せないくらいの快挙だと思っったのよ。決勝は（マッチプレーで）36ホールも回らなければいけないのに、そこで勝つんだから、本当におめでとう。

馬場 ありがとうございます。優勝したことで環境もすごく変わりました。それまではプロの試合に参戦しても家族くらいしか応援に来なかったのが、今はいろいろな人から声を掛けてもらうようになりました。

吉田 私も「TEAM KGA ジュニア出身の先輩としては負けれないね」などと言われた

吉田優利

2013年度（第1期）～16年度のTKJ認定選手（写真左は14年の第2期選考会で撮影。14歳）。17年関東女子ゴルフ選手権優勝（写真右）。18年の日本女子アマチュアと日本ジュニア（女子）の両選手権を制覇。16年～19年JGAナショナルチームメンバー。



馬場咲希

2018年度～22年度のTKJ認定選手（写真左。19年実施の選考会で撮影。14歳）。22年の関東女子（写真右）と関東ジュニア（女子）の両選手権を制覇。同年全米女子アマチュアゴルフ選手権で優勝。22年JGAナショナルチームメンバー。



「お互いにゴルフを盛り上げましょう」（吉田）
 馬場 私は面倒くさがり屋で、やるべきことを後回しにしたり、補習の準備も夜になってようやく手をつけるのに……。
 吉田 大丈夫だよ。そういうの

だって、私も全然あるある（笑）。
 馬場 長く練習してもうまくならないですよ。もつと質の高い練習をできるようにします。ゴルフ以外の時間はどのようにされているのですか？
 吉田 試合の合間には必ず家に帰り、心身が疲れていても、それが切り替えになっている。朝型人間なので午後から暇になると出掛けたり、（動画サイト）TikTokに投稿する（ダン

スなどの）動画を撮っている。編集も含めて15～20分くらいで出来るから、気休めに見てもらえればいいな。
 馬場 私はダンスが下手で……。
 吉田 そのようなスウィッチのオン、オフの切り替えがゴルフにも生きてくればいい。それに、自分は流行の最先端を行きたいと考えている。新しいものには敏感でいたいし、それを発信できるのは限られた人だと思う

し、自分はそういう立場にもいると思っている。それを生かしていけば、女性ゴルファーを増やすことにもつながるしね。
 馬場 来年も全米女子オープンに出られるので、まず予選通過を目標にして頑張っていきたいと思っています。
 吉田 私は年末にその1年をまとめて整理し、それをコーチやトレーナーと共有して、次の年の目標を定めるようにしている。咲希ちゃんもまだ17歳で、時間はたくさんある。お互いにゴルフを盛り上げましょう。
 馬場 はい。ありがとうございます。



流行の最先端を

吉田プロはこの日も可愛いネイルアート。TikTokへのダンス動画以外に普段着のファッションもSNSでは人気で「お洒落番長」の異名も持つ。流行の最先端を走り、新たなファンをゴルフ界に呼び込んでいる。



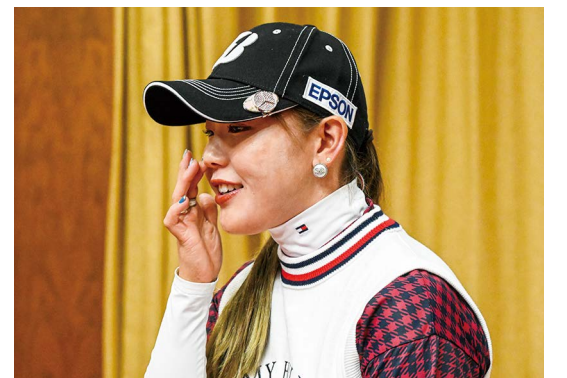
吉田 TEAM KGAジュニア1期生の私は小学校6年の時に米フロリダ州のIMGアカデミーに派遣してもらった。いろいろなことをやらせてもらった。その後に加わったナショナルチームと同じ体制が整っていたから、すべてがバランスのいい組織だったと今でも思っている。TEAM KGAジュニアに入って本当に良かった。
 馬場 私は練習環境が何もなくて、練習場で打って父とコースを回るだけだった。それがTEAM KGAジュニアに入ってから練習するゴルフ場も選ぶことができて、それがすごく大きかった。あのような環境を作ってくれなかったら今でも練習場で打っているだけだねと、今でも父と話しています。
 吉田 マナーやコミュニケーション・スキルなどを教わったのも良かった。スピーチでどうすれば人の心をつかめるかも教えてくれて、今でも助かっている。

馬場 私スピーチでは言葉遣いや姿勢などを学んで、今は自然にできるようになりました。マナーなどは他に教えてくれるところがないので、ありがたかったです。
 吉田 今のジュニアにアドバイスすることがあるとすれば、ゴルフだけじゃないということ。私は学校の勉強もしっかりやって、練習は質を重視した。客観的に見れば練習量は少なくても、周りからもそう見られていたかと思うてやってきた。それが合っているとも間違っているとも言わないけど、人に言われたから

いいように各ケースに応じたプランを想定し、対策と準備をしておけば何とかなる。そういうのも大事なかな。
 馬場 海外では芝生の違いなども感じました。どのように対応すればいいですか？
 吉田 確かに芝生やバンカーの違いはあるけど、そこで培った技はどこでも応用して使えると思っている。例えばオーストラリアのバンカーは砂が少なく

て硬く、グリーンとバンカーの境目にもフェアウェイみたいなものがない。でも、それを克服することで、日本でバンカーからピンまで7ヤードという難しいケースでも簡単に思えるようになるじゃない。そのように生かしていけばいいのでは。
 馬場 今の話を聞いて、すごいとしか言えません。私はほぼ何も考えていなくて、グリーンを外しても頭の中がモヤモヤして

「スピーチでは言葉遣いや姿勢などを学んだ」（馬場）





祝辞を述べる佐藤敏明KGA理事長



コミュニケーション・スキルの研修風景

また、親権者も食育をはじめ「スコアの数字だけで子供を責めない」「自分で考えさせる」「いろいろなスポーツをやる」「など、具体的な例とともに講習を受けた。

「ハキハキ、キビキビ、明るい笑顔！」とチームのモットーを2人で声をそろえ、ナショナルチームのガレス・ジョーンズ・ヘッドコーチは「よりハードに、より賢く練習を」と激励した。

KGAの佐藤敏明理事長が「日本で屈指のジュニアチームとして認められているTEAM KGAジュニアの認定選手である誇りを持って、自らの目標に向かって力強く歩んでください」と祝辞を贈って式を終えると、選手たちは4チームに分か

れ、さっそくコミュニケーション・スキルのアップを図る研修会。J・Laboの講師陣による「自分の印象を知る他己紹介」「第一印象と会話力強化」「さまざまな場面を想定したコミュニケーション演習」「異文化理解」の研修を受けた。

この中で「異文化理解」は、世界レベルで活躍するゴルファーを育成するために加えられたカリキュラムで、選手たちは「日本と海外の価値観の違い」などを学んだ。



笠川喜久男ジュニア育成委員会委員長



決意表明を行う本大志君



ジョーンズ・ヘッドコーチからのビデオメッセージ

式ではジュニア育成委員会の笠川喜久男委員長が「ここはプロの養成所ではない。素晴らしいゴルフファーターになるためであり、その中で皆さんが目標としているところへ、私たちがいかに導いていけるかです」と挨拶。続いて今年の関東アマチュアゴルフ選手権などを制した本大志君（目黒日大高2年）が選手を代表して「私たちはライバルとして切磋琢磨し、仲間として認め合い、励ましあって、多くの先輩方に負けぬように目標に向かって頑張って

ていきます」と決意を語った。

8月の全米女子アマチュア選手権を優勝した馬場咲希選手（代々木高2年）、吉田優利プロ、双子プロの岩井明愛・千怜姉妹の卒業生らも、お祝いのビデオメッセージを寄せた。馬場選手が「夢に向かって一緒に頑張りたい。う。笠川さんの言うことを聞いてください」と茶目つ気たつぷりに言う、会場の親権者たちは「咲希ちゃんらしいね」とクスクス。吉田プロは「有意義な1年にしてください！」、岩井姉妹は

2023年度「TEAM KGA ジュニア」認定式



関東ゴルフ連盟（KGA）が強化指定した選手による2023年度「TEAM KGAジュニア」の認定式が11月3日、武蔵丘短期大学（埼玉県）で行われた。今回は小学6年生から高校2年生までの男女64人が認定された。

2023年度「TEAM KGA ジュニア」認定選手（男子32名 女子32名 計64名 11月3日現在）

●**クラスS男子**（4名） 左から、栗原遥大（埼玉栄高2年）、佐藤快斗（埼玉栄高2年）、本大志（目黒日本大学高2年）、上村大和（目黒日本大学高1年）。

●**クラスS女子**（4名） 左から、伊藤二花（麗澤高2年）、齋藤裕（埼玉栄高1年）、田中天晴（明大中野高1年）、常盤和也（作新学院高1年）、栗野泰成（石岡市立国府中3年）、宇田川理茶度（葛飾区立青葉中3年）、木暮凌太（柏市立柏中3年）、渋谷晃太郎（横浜市立永田中3年）、山崎咲寿（海老名市立有馬中3年）。

●**クラスA男子**（12名） 左から、小野田寧々（共愛学園高2年）、川畑優菜（麗澤高2年）、安西歩美（土浦日大高1年）、遠藤桂音（明秀学園日立高1年）、鈴木姫琉（麗澤高1年）、二宮佳音（利根商業高1年）、萩生田みらん（共立女子第二高1年）、松原柊亜（日本ウェルネス高1年）、間中りょう（埼玉栄高1年）、伊藤愛華（練馬区立貫井中3年）、伊藤美輝（横浜市立高田中3年）、濱朱姫（我孫子市立白山中3年）。

●**クラスB男子**（8名） 左から、桑谷海翔（栃木東中3年）、小林麟太郎（日の出中3年）、大郷喜一（太平中3年）、竹花颯汰（大相模中3年）、辛宇振（早稲田実業中2年）、武井大也（みどり市立笠懸南中2年）、中山怜音（立教新座中2年）、渡邉日向（清原中2年）。

●**クラスB女子**（8名） 左から、國吉愛良（千葉市立松ヶ丘中3年）、三原舞紀（足立十四中3年）、五十嵐凜（目黒第八中2年）、臼田藍（高崎市立寺尾中2年）、清水心結（さいたま市立東浦和中2年）、清藤羽流（市原市立ちはら台西中2年）、中澤紗来（朝霞市立朝霞第二中2年）、林愛輝美（船橋市立小室中2年）。

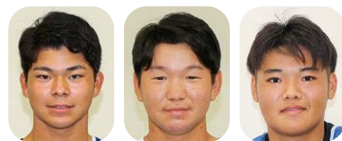
●**クラスC男子**（8名） 左から、片野貫一郎（光英VERITAS中1年）、島田楽生（伊勢崎市立四ツ葉学園中1年）、戸村空汰（川越市立霞ヶ関中1年）、林田遼汰（妻沼西中1年）、荒川遼（江戸川学園取手小6年）、高浦維吹（袖ヶ浦市立昭和小学6年）、富田真起

明（白岡市立西小6年）、峯村 怜（安曇野市立豊科東小6年）。

●**クラスC女子**（8名） 左から、鈴木花風（白井市立七次台中1年）、長峰真央（千葉市立貝塚中1年）、仁科優花（千葉市立白井中1年）、藤本 華（習志野市立第一中1年）、安西美空（つくば市立東小6年）、飯田柚月（船橋市立金杉台小6年）、境美玲（江東区立有明西学園小6年）、長峰美桜（千葉市立北貝塚小6年）。

●**クラスA女子**（12名）

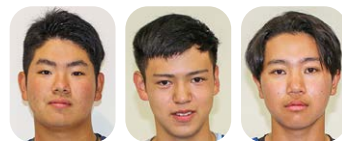
●クラスS男子(4名)



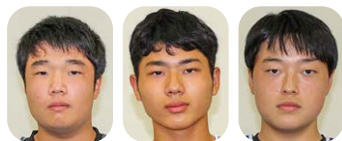
●クラスS女子(4名)



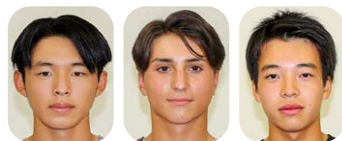
●クラスA男子(12名)



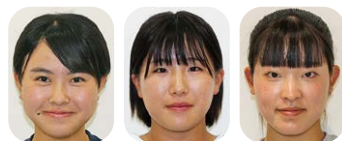
●クラスB 男子(8名)



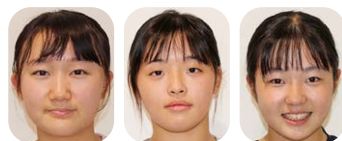
●クラスB女子(8名)



●クラスC男子(8名)



●クラスC女子(8名)

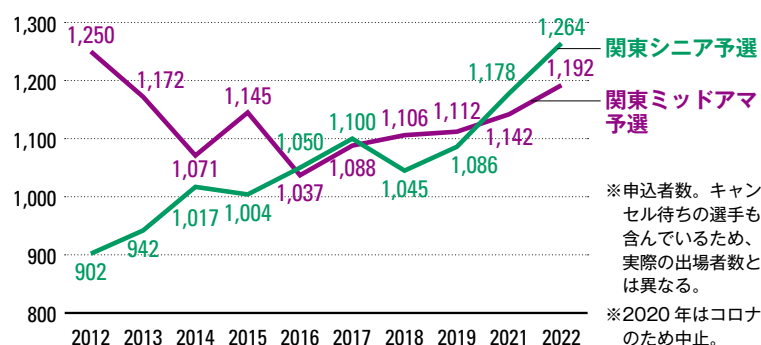


2023年 関東ミッドアマチュア／関東シニア 決勝競技形式

出場256名(予定)を無作為に、**グループA**:128名/**グループB**:128名の2グループに分け、下記の通りプレーします。

決勝競技	関東ミッドアマチュアゴルフ選手権		関東シニアゴルフ選手権	
開催倶楽部	穴戸ヒルズ カントリークラブ・西	穴戸ヒルズ カントリークラブ・東	富里ゴルフ倶楽部	カレドニアン・ ゴルフクラブ
1日目 (18ホール・ストロークプレー)	グループA	グループB	グループA	グループB
2日目 (18ホール・ストロークプレー)	グループB	グループA	グループB	グループA
3日目 (18ホール・ストロークプレー)	第2ラウンドを終え、上位120名前後が第3ラウンドに進出			
	第3ラウンド進出者		第3ラウンド進出者	

申込者数の推移



また、関東女子ゴルフ選手権(以下関東女子)は、これまでの3日間から4日間競技に変わる。
変更の理由の一つは、関東女子の成績上位者が進出する日本女子アマチュアゴルフ選手権競技が4日間競技で行われており、4日間競技に慣れてもらうためだ。さらに、「4日間競技の方が、世界アマチュアランキングに反映されるポイントが高くなる。世界を目指すジュニア選手、学生たちに少しでも貢献できれば(内藤競技委員長)」という意味も込められている。
関東女子が4日間になることで、競技委員の負担はさらに増えるだろう。内藤競技委員長は「競技委員の数は毎年、少しずつ増えているが、負担増に対応するためには委員個々のレベルアップも

4日間競技にする狙いと意義

「この方式は、コース側の協力がなくてはできない。選手のため、ゴルフ振興のために」と理解と「協力をお願いするしかない。また、近い将来、決勝競技であっても、選手にはキャディーなしのセルフプレーをお願いすることになるかもしれない」と言う。



競技委員のコースセッティング、並びにルーリングのレベルアップを図るための4時間にわたる講習会を11月21日、桜ヶ丘CCで開催。21人の競技委員が受講した。

欠かせない」と話す。このため、委員歴3年未満の競技委員を対象とした講習会を11月に開催。コースセッティングの基礎などを学ぶ機会を設けた。
関東女子シニアゴルフ選手権の申込者数も、この10年で倍以上に増えている。健康寿命が伸び、用具の進化もあって年齢を重ねても競技を十分に楽しむゴルフアワーは、これからも増えていくだろう。
内藤競技委員長は「競技を目指す人が増えているのは、素晴らしいこと。すべては選手のため、という視点で、変更すべき点はこれからも検討していきたい」と話している。

日、第2日は従来の倍の人数を集めなくてはならない。
受け入れるコース側の負担も増える。練習ラウンドを申し込んでくる選手数は倍になり、しかも2コースともに練習ラウンドが可能



特集3

関東ミッドアマと関東シニアの決勝競技方式が大きく変わる

決勝競技の出場者数は倍増の256人(予定)
関東女子ゴルフ決勝は4日間競技に！

写真上から:今年の関東ミッドアマチュアの入賞選手。
参加選手数が年々増えている関東シニア。
来年から4日間競技になる関東女子。

大きく変わるのが、25歳以上が出場できる関東ミッドアマチュアゴルフ選手権(以下関東ミッドアマ)決勝競技と55歳以上が出場できる関東シニアゴルフ選手権(以下関東シニア)決勝競技。両競技は、コロナ対策下の2021年、22年は120人で争われたが、来年からは倍以上の256人が出場できる(予定)。競技方式も、2倍の人数を公平に競わせるため、2コースを使用した変則3日間競技となる。この変更に伴い、関東シニアは従来の2日間競技から3日間競技に変わる。
2コースを使用する変則3日間競技では、256選手を128人ずつの2グループに分け、グループAは1日目に甲コース、2日目に乙コースをプレーし、グループBは逆に1日目に乙コース、2日目に甲コースをプレーすることになる。そして、両コースの合計スコアの上位120人前後が、甲コースで行われる3日目の競技に進出し、頂点を目指す。
複数のコースを使用する方法は、米プロツアーの一部の試合などで行われているが、国内競技で採用されるのは珍しい。
この方式は、特に中高年の競技熱が高まり、予選競技の参加申込者数が増加していることに対応するために採用された。
予選競技への申込者数を競技別に見ると、関東シニアは10年前の2012年は902人だったが、



内藤正幸競技委員長

今年1264人まで増えた。関東ミッドアマは、10年前の1250人から一時、減少したが、17年以降は5年連続(コロナで中止の20年は除く)で増加傾向にある。
2021年、22年の決勝競技出場人数は、両競技とも、20人弱のシード選手を含めて120人だったから、予選通過者はともに約10人に1人の狭き門だった。
今回の変更は、競技者の増加に対応するとともに、より多くの選手に決勝競技を楽しんでもらおうという考えからだ。

開催倶楽部の協力なしの実現は不可能

内藤正幸競技委員長は「選手の間で『予選通過が年々、厳しくなっている』という不満の声が挙がっていた。もう少し、決勝進出のチャンスが増える方法はないかと考えた」と、変更の理由を語る。
ただ、実際に変更するにあたって「不安もかなりある」と内藤委員長はいう。まず、難しいのが会場選びだ。36ホール以上ある倶楽部が、比較的近い所に姉妹コースがあるなど選手の移動に支障が少ない会場を選ぶ必要がある。競技委員も、2コースで行われる第1



17番ホール

ジャパンPGAゴルフクラブ

Japan PGA Golf Club

日本プロゴルフ協会が設計した
日本で唯一のPGA冠コース

〒292-1167 千葉県君津市平田223
TEL: 0439-37-3700 FAX: 0439-37-3501
理事長：古井 明徳 総支配人：柿崎 芳
開場：1995年9月10日
コース設計 ● 日本プロゴルフ協会、株式会社竹中工務店
コース規模 ● 18Holes Par72



クラブハウス

当倶楽部は東京湾アクアラインを渡り館山自動車／君津ICより12km／約20分と都心からも好アクセスな立地に御座います。コースはPGAの名を冠とした日本初のコースでプロには安易なプレーを許さず、アマチュアはその技術に応じて楽しめるコースレイアウトになっております。チャンピオン、バック、レギュラー、レディーズ、シニアの各ティイングエリアがあり、使用するティイングエリアによって各ホールの貌は変わってきます。OUTコースは全般に距離は短めですがティショットの正確さを求められるホールが多く、INコースはのびのびと打っている素直なホールが多いですが、パー4はしっかりと距離もありますのでアベレージゴルファーでも楽しめるレイアウトとなっております。



18番ホール

となる18番ホールグリーンを見下ろすことが出来、優雅な一時をご提供致します。プロショップも様々なアイテムを多数取り揃えており自分好みのアイテムを見つける事が出来ると思います。この度、関東ゴルフ連盟に加盟させて頂いたことにより責任を持ち、当倶楽部のコンセプトとしている「お客様が来場されてからゴルフ場を後にするまでのすべてのシーン、すべての時間においてご満足していただける倶楽部」を目指してスタッフ一同精進して参ります。今後とも何卒宜しくお願い致します。

2022年は今後に関わる 変化の年だったのでは

物事が大きく変化する時は、インパクトある何かが起こるものだが、2022年はそうした潮目の年だったのではないかと思う。10月の日本オープンで、東北福祉大の蟬川泰果選手が、アマチュアとしては95年ぶりの優勝を果たした。同じ週に女子では、こちらはプロだが、19歳の川崎春花選手が日本女子プロに続く2勝目を挙げている。

界ランキング1位になるなど、着実に実力と実績を積み上げてきた。そうした流れの中で生まれた蟬川選手の日本オープン制覇である。トップを目指す子どもたちは、昔のように研修生→プロという図式ではなく、多くがアマチュアで経験を積んで上位に顔を出してくる。だから、ボールを打つ技術だけでなく、試合慣れしていてプロとも堂々と渡り合える。アマチュアの育成プログラムが功を奏している面は多大だと思う。

一方、一般ゴルファーにも大きな変化があった。コロナ禍のゴルフブームで、80万人以上のゴルファーが創出されたと言われている。なかで、20代の若者が数多くゴルフを始めた。



また、今回新たにゴルフを始めた人の40%は女性だとも言われている。若者や女性のゴルファー育成がずっと叫ばれてきて、なかなか実を結ばなかったものが、コロナというアクシデントで実を結ぼうとしている。こうした一般ゴルファーの創出・育成は、単に憧れのスター選手が存在だけでは難しい。すでにそうした考え方は望むほどの成果が示上らないことは過去の推移が示している。

（文／鈴木一也広報委員）

コロナ感染症の蔓延がおさまらない。今度は第8波だと言う。一方、世の中はコロナ感染症に慣れてきたように見える。第8波の来襲とは言え、人々それなりの活動を続けている。Postコロナだ、withコロナだ、と言った頃が懐かしいが、まさに時代は、withコロナの時代となったと見える。関東ゴルフ連盟は、そ

のようなwithコロナの状況を反映して、対策を検討している。本号では、その中で競技委員会が取り組む、来年度競技の「決勝競技方式変更」を特集記事とさせて頂いた。これからもwithコロナの時代は続き、我々はさらに新たな感染症と共に生きる時代を迎えることになると思う。（広報委員長・吉田裕明）



KGAGOLFER'S NEWS

2022年12月25日発行
KGA GOLFER'S NEWS No.139

発行所／一般社団法人 関東ゴルフ連盟
〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目18番11号
銀座SCビル4階

TEL 03-6278-0005 FAX 03-6278-0008

ホームページ <https://www.kga.gr.jp>

発行人／佐藤敏明 編集／広報委員会



浜野ゴルフクラブ

〒290-0168

千葉県市原市永吉937

TEL : 0436-52-3111



桜ヶ丘カントリークラブ

〒206-0021

東京都多摩市連光寺2985

TEL : 042-375-8811